資料 2

ひらかた
交通まちづくりワークショップの報告

目　　次

ＷＳの目的、経過　……1

課題と解決策のとりまとめ案　……2

テーマ１：駅および駅前空間　……3

テーマ２：バス路線の再編・改善　……4

テーマ３：バスサービスの改善　……6

テーマ４：道路空間の整備や使い方　……7

テーマ５：交通安全対策・マナー・ルール　……8

テーマ６：自動車交通の円滑化　……8

枚方市交通改善のための２つのプロジェクト（提案）：その１　……9

枚方市交通改善のための２つのプロジェクト（提案）：その２　……12

ＷＳの目的、経過

ワークショップ開催の目的

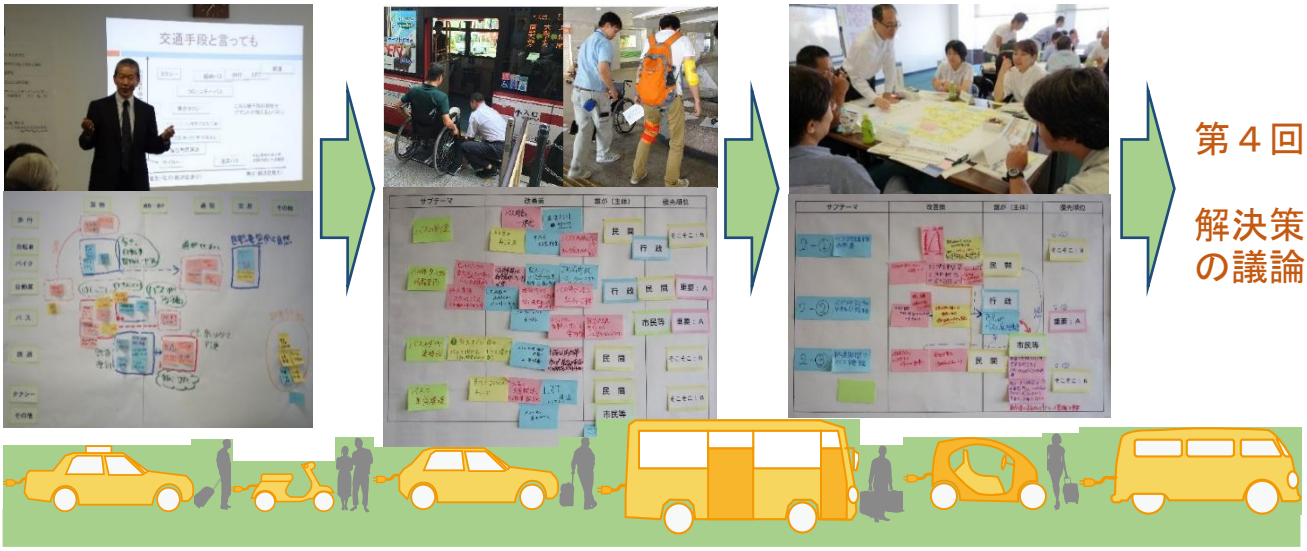
- 枚方市の交通環境にどのような課題があるのかに気付き、発見し、相互に課題を共有することにより解決策の方向性を探る場とする。
- 相互に今できることなどの意見を出し合いながら、公共交通をはじめとする市内交通への理解を深める場とする。

ワークショップで議論した内容や視点は、『枚方市総合交通計画協議会』へ報告

第１回
良いところ・悪いところ

第２回
バス・鉄道の体験

第３回
課題と対策の議論



第４回
解決策の議論

第１回から第４回のテーマ

第１回目	4/23（土） 10:00～12:00	枚方市の公共交通事情、問題を構造化し、何が課題かを全員で共有する。
第２回目	5/22（日） 9:30～12:00	枚方市の公共交通を体験（枚方市駅から長尾駅のバスに乗車、両駅を視察）。重要と考えられる交通課題を議論する。
第３回目	7/30（土） 10:00～12:00	第１、２回で挙がった問題点をもとに、対策につながるテーマごとに事務局側で分類。
第４回目	8/28（日） 10:00～12:00	第３回,４回で出された解決策を提案書（案）として取りまとめ。

課題と解決策のとりまとめ案

＜取りまとめの方法＞
・第３回のワークショップで出された６分野について、これまでに出された課題と解決策を整理。
・さらに、「中長期的に取り組む解決策」と「少し工夫して改善できそうな解決策」に分けることで、市民を含む関係者が協働で取り組めそうな解決策を示している。
・市民参画型の２つのプロジェクトを提案。

６分野の区分

1. 駅および駅の空間
2. バス路線の再編・改善
3. バスサービスの改善
4. 道路空間の整備や使い方
5. 交通安全対策、マナー・ルール
6. 自動車交通の円滑化

テーマ１：駅および駅前空間

枚方市の交通課題（第１回～第２回ＷＳの指摘事項）

枚方市駅	●駅・ホームにEVはあるが、不便な所にある。
	●市の中心を歩行者天国に。
	△駅が広いので、EV、トイレの場所がわかりにくい。
	●タクシーの台数が多すぎて、交通の邪魔。
	●駅前広場に自家用車の違法駐車が多い。
	●駅北口バス停のベンチが少なく感じる。
	△バスがたくさんあって、行き先がわからない。
	●駅、バス停周辺に駐輪場がない。
	●駅前のバス案内がローマ字と漢字のみ。
長尾駅	●バス停にイスがない（長尾駅）。
	●駅周辺の道路が狭い。
	●駅周辺の歩道が狭いので、人と自転車が車道にはみ出る。
	●バス停にも電子案内板がほしい。
樟葉駅	●楠葉駅前溜まりすぎのタクシー。 ●雨の日の送迎（車が多い）。

●：悪い点
△：どちらともいえない点

こんな解決策がある！（第３回、４回ＷＳでの意見）

方　針	解　決　策　（案）	
	中長期的に取り組む	少し工夫して改善
駅前広場のバス停をもっと使いやすくする	・駅前広場を再開発に合わせて改良（枚方市駅）。	・北口バス停の位置の改善。 ・バス停のシェルターを充実。 ・行先別のバス待ちスペースの路面表示。 ・バスの行き先をわかりやすく表示。
駅をもっと便利にする	・わくわくドキドキするような駅前ストーリートの整備（枚方市駅）。	・駅のエレベータ位置などの案内表示を改良（枚方市駅）。
	・枚方駅および周辺地区の再開発に伴う賑わい・利便性の向上。	・構内の見取図を分かりやすくする。 ・周辺店舗等の案内。
	・駅、ベンチを管理する人や事業者を入札で募集する。	―
駅のバリアフリー化	・ホームドアの設置。	
自家用車の使い方を改善	・雨天時の自家用車の利用を抑制。	―
タクシーの使い方を改善	・タクシーの駅前広場への流入をコントロール。	・タクシーの溜まりの場所を確保。
駐輪場を便利に	・自転車シェアリング。	・駐輪場の案内（駅）を充実させる。
駅周辺道路の改善	・歩道の整備。 ・交差点の改善。 ・自家用車中心でない道路整備。	―

テーマ２：バス路線の再編・改善

枚方市の交通課題
（第１回～第２回ＷＳの指摘事項）

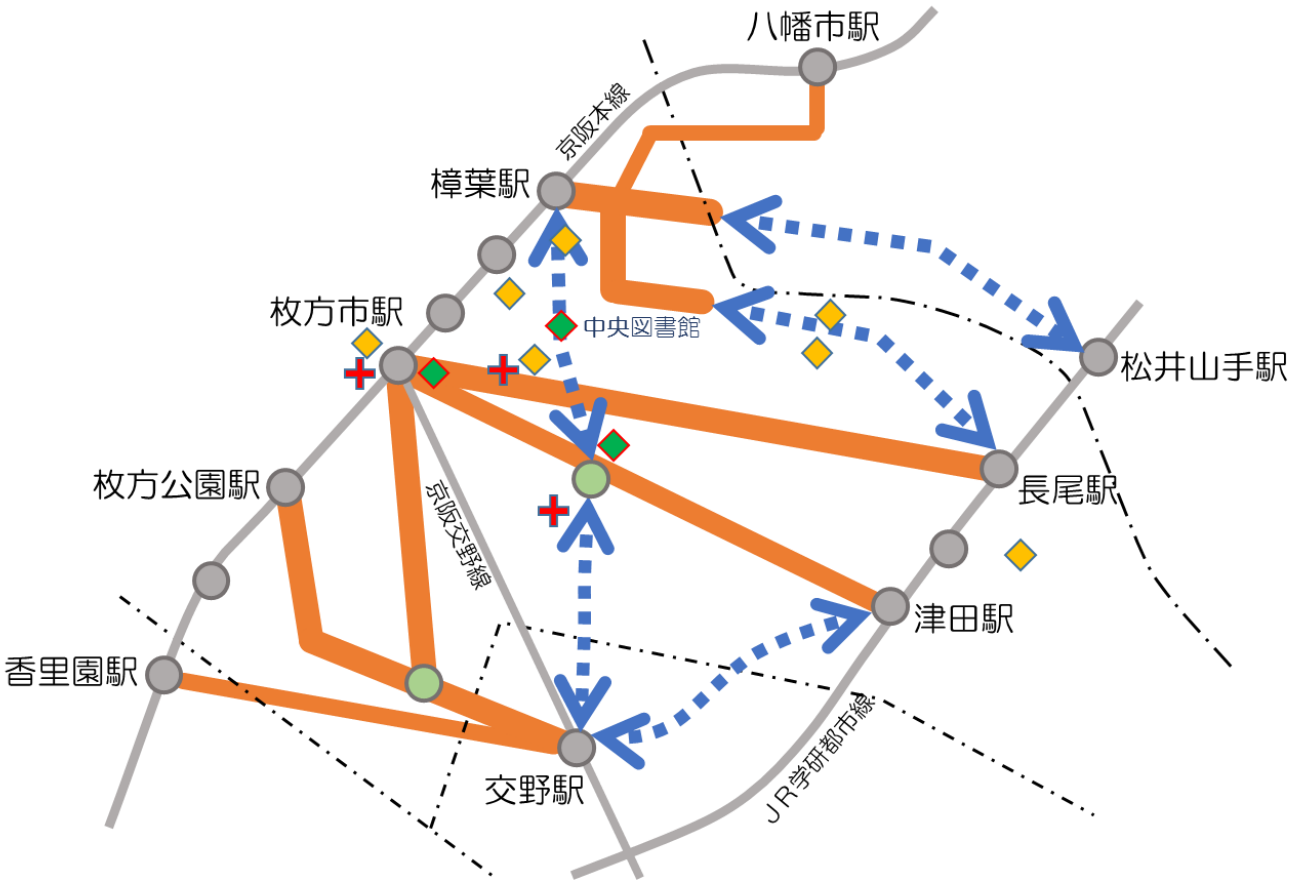
主要な路線	●東部から中心部への公共交通がバスのみ。
	△東西方面に移動しにくい。
公共施設間・駅間路線	●楠葉から中央図書館までが不便。
	●津田駅方面のバスがない。
	●岡山手地区バス停なし。
	●南北方向のバスが少ない。
	△循環バスの復活（市民病院）。
	●ＪＲと京阪との乗り継ぎが不便。
	●交野線とＪＲの乗換なし。

●：悪い点
△：どちらともいえない点

こんな解決策がある！（第３回、４回ＷＳでの意見）

方　針	解　決　策　（案）	
	中長期的に取り組む	少し工夫して改善
幹線路線の強化	・幹線と支線を分けてバス路線網を考える。	―
支線による市内の移動の利便性の強化	・よく使われる公共施設などへのバスサービスの強化。	・現在のバス路線の改善によるサービスの改善。
	・道路整備及びバス路線の空白地へのバス等のサービスの改善。 ・支線の整備←市民	―
駅、主要な乗換場所の整備	・主要な駅における乗換利便性の強化。 ・バス拠点を設ける。	―

バスの幹線路線と想定される支線のイメージ



凡　例

- 鉄道
- 幹線路線
- 想定される支線
- 公共施設
- 病院
- 大学

※ ＷＳでの意見を基に作成したイメージです。

テーマ３：バスサービスの改善

枚方市の交通課題（第１回～第２回ＷＳの指摘事項）

本数	●ラッシュ時以外のバスが少ない。
料金	●市内一律料金にしてほしい。
	●中学・高校・大学生料金を作ってほしい。
車両	●車内が混雑して窮屈。
	●乗りにくい（ステップがある）。
	●車椅子の乗降に時間がかかり過ぎる。
	●乗降スペースが狭い。
	●バス降車ボタンの点字がない。
	●バス内の話し声でアナウンスが聞こえにくい。
	●外国人への案内がない。
バス停	●バス停屋根がない所が多い（雨天時大変）。
定時性	●バスがよく遅れる。
	●最終が早い。
	●雨の日のバス渋滞。

●:悪い点
△:どちらともいえない点

こんな解決策がある！（第３回、４回ＷＳでの意見）

方針	解決策（案）	
	中長期的に取り組む	少し工夫して改善
本数	・外大生の大量輸送（バス本数増、ＢＲＴ、LRT等）。	・外大までのバスを増やす（朝、授業終わり）。 ・バスの始発最終明確にかつ等間隔。
料金	・乗り換え割引料金。 ・5km まで 200 円料金を短い距離で基本料金を安く。	・高齢者パス等の割引制度導入。 ・新しいバス停を。
車両	―	・ベビーカーを乗せやすく ・車内で ICOCA チャージができるように。
バス停	―	・バス停に高齢者用ベンチを設置。 ・ICOCA のチャージ器械をバス停に設置。 ・外国人向けのバス停のわかりやすいい表示。
	―	・施設内までバス停を設置する（外大、病院など）。
	―	・セットバックの空間をベンチ・屋根付バス停に。
案内表示等	―	・バスターミナルで案内役を置く。
	―	・枚方市駅市外の人もわかりやすいバス案内。
高齢者対応	・高齢者にあったバスを導入。	

“ひらかたバス停プロジェクト”

テーマ４：道路空間の整備や使い方

枚方市の交通課題（第１回～第２回ＷＳの指摘事項）

歩道	●歩道が狭く、デコボコしている。
	●歩行者のための道路が少ない。
	●通学時間帯歩道混雑。
自転車	●自転車の通行環境が良くない（走りにくい）。
	●自転車専用道が狭い。
バリアフリー化	●歩道の幅の狭さ、段差が安全ではない。
	●車椅子では障害になる段差がある。
	●歩道の段差と柵が不便そう。
	●長尾谷付近、歩道の中央に電柱あり。
信号	●歩道分離：スクランブル交差点にできないか。
	●自転車の信号機の見分け方について。
景観・道路	●細い道なのに、広告旗や看板が邪魔。
	●並木で見通しが悪い。
	●花壇の手入れが悪い。

●：悪い点
△：どちらともいえない点

こんな解決策がある！（第３回、４回ＷＳでの意見）

方　針	解　決　策　（案）	
	中長期的に取り組む	少し工夫して改善
歩　道	・都市計画道路等の整備に伴う歩道の整備。	・歩道の改修等に伴う改善。 ・カーブミラーの設置の見直し。 ・電線を地下化。
自転車		・自転車通行帯の整備。
信　号	・歩行者専用信号の増設。	―
バリアフリー化	・駅周辺、主要な公共施設等の歩道のバリアフリー路線の改善。	―
自動車の規制等	・駅周辺における歩行者、自転車等の優先化。	・生活道路におけるゾーン 30 の導入。 ・減速帯の設置。 ・自動車の時間、曜日規制など。
管理体制	―	・道路の草刈りを自治会に協力してもらう（コミュニティ、・ボランティア）。

“モデル地区での検討プロジェクト”

テーマ５：交通安全対策・マナー・ルール

枚方市の交通課題
（第１回～第２回ＷＳの指摘事項）

自転車	●自転車の交通マナーが悪い。
	●自転車の逆走。
歩行者	●歩行者の信号無視。
自動車	●スマホを見ながらの車の運転。
	●自動車からゴミを捨てる。
その他	●道路に物を置く。
	●バス車内で携帯電話。
	●全体的に交通マナーの周知に欠けている。

●:悪い点
△:どちらともいえない点

こんな解決策がある！（第３回、４回ＷＳでの意見）

方　針	解　決　策　（案）	
	中長期的に取り組む	少し工夫して改善
広報・周知	―	・広報活動の増加。 ・テレビＣＭ新聞広告。 ・スマホでマナー誘導（ポイント付与）。
新たな講習会等の制度化	・マナー講習受講義務化。 ・枚方市独自の自転車免許制度。	―
モビリティマネジメント	・教育プログラムの強化。	・枚方市独自のモビリティマネジメント。
条例化	・条例化による規制強化。	―

テーマ６：自動車交通の円滑化

枚方市の交通課題
（第１回～第２回ＷＳの指摘事項）

	●枚方市駅の渋滞がひどい。
	●樟葉駅周辺の渋滞。
	●春日山～長尾、分道からの出入車両多い。
	●樟葉駅前のKISS&RIDEによるバスの渋滞（特に雨天時）
	●第２京阪道路との交差道路での渋滞。

●:悪い点
△:どちらともいえない点

こんな解決策がある！（第３回、４回ＷＳでの意見）

方　針	解　決　策　（案）	
	中長期的に取り組む	少し工夫して改善
市内の渋滞解消	・現状の渋滞の再検証に基づく対策案の検討。	
樟葉駅広	・K&Rのクルマの駅広進入禁止。 ・駅広でのタクシー待ち台数の削減。	
第２京阪へのアクセス	・第２京阪交差道路の信号現示の変更。 ・第２京阪道路高架部の料金低減化。	

枚方市交通改善のための
２つのプロジェクト（提案）：その１

“ひらかたバス停プロジェクト”

●ワークショップで出されたバス停の改善を目的に、より使いやすく、綺麗なバス停の整備・管理等について具体的な検討を行う。

●市民・民間事業者、大学生などからバス停の改善案の提案を募る（デザインコンペの実施など）。

●沿道の小規模な商業施設（コンビニ等）、公共施設などの協力によるバス停の幅員の確保、休憩場所などの確保などについても、新たな取組として検討を行う。

バス停の電光掲示の例（バスロケーションシステム）

バス停の屋根、ベンチの例

コンビニと連携したバス停の例（京都市）:「バスの駅」

お知らせ
（経済同時）

平成２７年９月１８日
交　　通　　局
（自動車部技術課
TEL　８６３－５１５４）

コンビニ連携「バスの駅」第１号

「バスの駅」サークルＫ西京極店　完成！

京都市交通局では，より快適なバス待ち環境を創出するため，地域や民間事業者の皆様及び関係機関に御協力いただき，「バスの駅」設置事業を推進する中，本年７月，株式会社サークルＫサンクスと「バスの駅」の設置に関する協定を締結し，年内に１０店舗への設置を予定しております。

この度，コンビニ連携「バスの駅」第１号店として，店内でゆったりと飲食していただきながらバスをお待ちいただけるイートインスペースやモニター型バス接近表示器，屋外ベンチなどの設備を備えた『「バスの駅」サークルＫ西京極店』の供用を開始しますので，お知らせします。

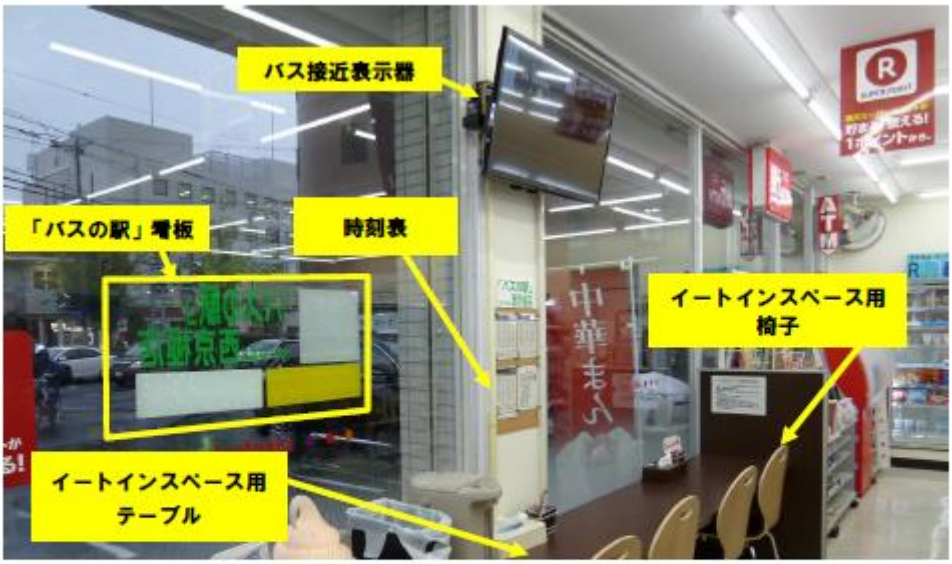
記

１　供用開始日時
平成２７年９月１９日（土）始発から

２　場　所
サークルＫ 西京極店　店内　【市バス「西京極運動公園前」東行バス停前】
（住所：京都市右京区西京極郡町 95-2）

３　設置設備
・イートインスペース用テーブル及び椅子
・バス接近表示器
・時刻表
・「バスの駅」看板

4　設置イメージ



5　特　徴

店舗内に新たにイートインスペースを設け，そのスペースにバス接近表示器を設置することにより，コーヒーなどをお飲みいただきながら，到着までゆったりとお待ちいただくことができます。また，同店舗は市バス一日乗車券カードなど各種乗車券の販売を行います。

（参考）「バスの駅」について

- 歩道に設置する「バス停」に対して，「バスの駅」は，地域や民間事業者の皆様の御協力をいただいて，敷地や建物施設の一部を無償で貸していただき，交通局が上屋やベンチ，バス接近表示器などを整備するバス待ちスペースです。
- これまでに，清水道，南太秦，四条河原町，福王子，堀川丸太町，京都学園大学前など１３箇所に設置しています。

枚方市交通改善のための
２つのプロジェクト（提案）：その２

“モデル地区での道路の使い方検討プロジェクト”

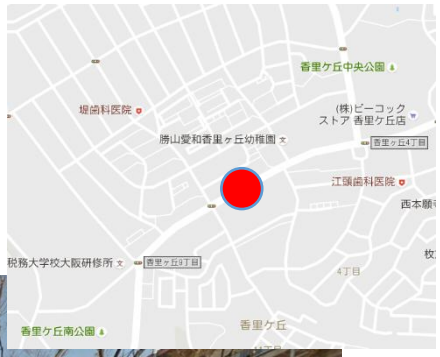
●香里ケ丘のけやき通りをモデル地区として、地元住民、沿道の事業者等とのニーズを踏まえて、「けやき通り」における道路の使い方を検討する。

＜想定される道路の使い方＞

- 自転車通行帯の整備
- バス停の改善・バリアフリー化
- 歩道の段差解消
- 歩道の舗装面の改善
- 歩道等における花壇などの設置と管理方法の検討

モデル地区における道路の使い方の検討

― けやき通（香里園）―



舗装面の改良

地元住民による歩道の花壇の設置・管理

自転車走行帯

減速帯

ゾーン 30

シェルター付バス停

富山市　おでかけ定期券

65歳以上の方は 楽しい! お得! 元気!

おでかけ定期券で中心市街地へでかけてみませんか

● 昭和27年4月1日以前にお生まれの方が対象です。

「おでかけ定期券」は、市内在住の65歳以上の方が市内各地から中心市街地へおでかけになる際に、公共交通機関を100円で利用できる定期券です。「おでかけ定期券」を利用して中心市街地にでかけることによって、自然と歩数が増加し、健康増進につながることが期待されます。

また、「おでかけ定期券」を提示することで、中心市街地にある約60の協賛店で商品の割引、約30の市の体育施設や文化施設を半額(一部無料)で利用できるなど、様々な優待サービスをご用意しています。詳しくは別添のチラシをご覧ください。

1 利用できる交通機関がイロイロ!

おでかけ定期券は、地鉄路線バス、地鉄電車、市内電車(環状線を含む)、富山ライトレール(ポートラム・フィーダーバス)、まいどはやバスで利用できます。

利用できる公共交通機関と利用時間帯について

おでかけ定期券利用時の運賃

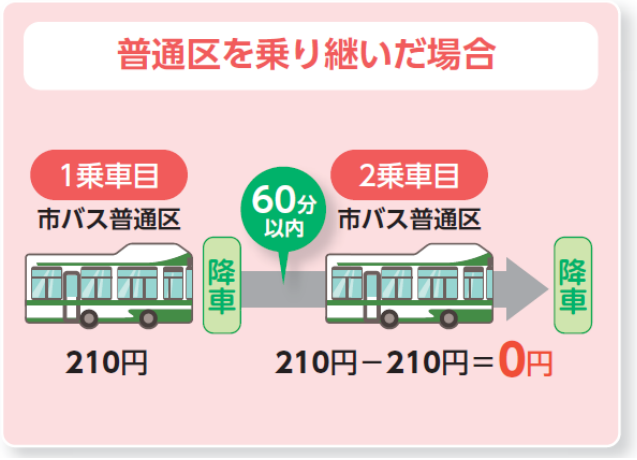
公共交通機関	9時以前(降りる時間)	9時～17時(降りる時間)	17時以降(降りる時間)
地鉄路線バス	通常運賃の10%割引	おでかけバス ①市内各バス停⇔中心市街地の指定バス停(20箇所) ②市内各バス停⇔市民病院のバス停(3箇所) 100円	通常運賃の10%割引
地鉄電車	通常運賃の10%割引	おでかけ電車 ①市内各駅 ⇔ 電鉄富山駅 ②市内各駅 ⇔ 南富山駅 100円	通常運賃の10%割引
市内電車(環状線を含む)	180円 通常運賃の10%割引	おでかけ路面電車 100円	180円 通常運賃の10%割引
富山ライトレール(ポートラム、フィーダーバス)	180円 通常運賃の10%割引	100円 ※富山ライトレールのポートラムは、午前9時から午後4時31分に富山駅北、岩瀬浜発車のダイヤが対象です。	180円 通常運賃の10%割引
まいどはやバス	100円(通常運賃)		

※割引区間以外の利用はICカード運賃(通常運賃の10%割引)になります。
※100円で乗車できるのはおでかけ定期券に事前に入金したうえでの精算のみです。現金や共通回数券では100円で乗車することができません。

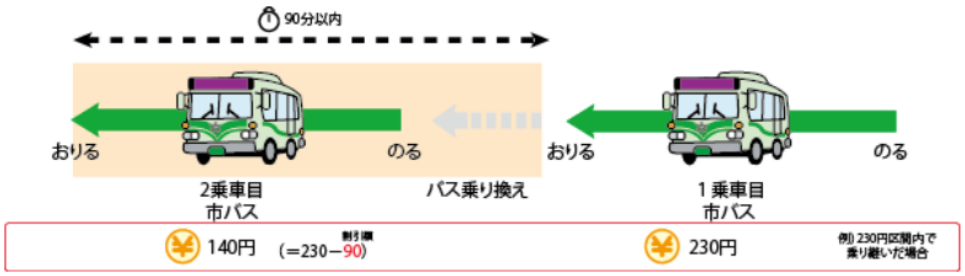
平成28年3月発行

乗継割引の事例

＜神戸市＞最大 210 円



＜京都市＞９０円割引



1乗車目の市バス運賃は通常どおり230円です。
2乗車目に割引が適用され，140円(=230-90)となります。

＜名古屋鉄道＞

名鉄⇔名鉄バス　　：８０円割引
名鉄バス⇔名鉄バス：４０円割引

自転車のシェアリングシステム事例：金沢市

愛媛県自転車安全利用条例

自転車安全利用条例

～「愛媛県自転車の安全な利用の促進に関する条例」～

平成25年7月1日施行

県では、歩行者、自転車、自動車等が、お互いの立場を思いやる気持ちで道路を共有する、**「シェア・ザ・ロード」**の精神を基本とし、自転車を安全かつ快適に、楽しく利用できる環境をつくるため、『愛媛県自転車の安全な利用の促進に関する条例』を制定しました。

また、**毎月10日を「自転車安全利用の日」**とし、県民総ぐるみで自転車の安全な利用の促進を図ることとしています。

❶交通に関する法令の遵守

自転車は車両の仲間です!!

自転車は、法律で自動車と同じ「車両」に分類されますので、車道通行が原則です。

道路（車道）の左側端に寄って通行しなければなりません。

自転車は、次の場合に歩道を通行することができます。

1.道路標識や道路標示によって、歩道を通行できる場合
2.運転者が13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者、身体障害者である場合
3.通行の安全を確保するために、やむを得ない場合

❷歩道・路側帯の走行

車道の左側にある歩道・路側帯を通行しましょう!!

歩道・路側帯を通行する場合は、車道の左側に設置されている歩道・路側帯を走行しましょう。
また、その場合は車道寄りを走行しましょう。

【路側帯とは…?】

歩道のない道路等で、歩行者が通行するために設置された、道路標示（白線）によって区分された部分のことで、自転車も通行できる。

❸歩道の通行方法

歩行者が多い場合は自転車を押して歩きましょう!!

歩行者が多く通行している歩道では、自転車を押して歩きましょう。

④ ヘルメットの着用

ヘルメットで身を守りましょう!!

自転車乗車中の交通事故で亡くなった方の64％が頭部の損傷が原因となっています。

自転車に乗る時は、ヘルメットを正しく着用し、自分の身を守りましょう。

⑤ 保険の加入

交通事故の加害者となった場合、自転車であっても多額の損害賠償を求められるケースがあります。

〈事例1〉賠償額 約5,000万円

夜間、女子高校生が携帯電話を操作しながら無灯火で走行中、歩行者と衝突し、歩行者に重大な障害が残った。

〈事例2〉賠償額 約3,000万円

朝、男子高校生が自転車で歩道から交差点に無理に進入し、通行中の自転車と衝突した結果、相手が亡くなった。

万が一に備え、損害賠償に対応できる保険に加入しましょう。

⑥ 点検・整備

交通事故等の危険を避けるためには、使用する自転車の安全性が確保されていることが大切です。
また、他の車両から発見されやすくするために、反射材を装着したり、後方の安全確認のためにバックミラーを取り付けるなど、交通事故を防止する対策を行いましょう。

① ハンドル
前の車輪と直角に固定されているか。

② ベル
よく鳴るか。

③ ブレーキ
前輪ブレーキ、後輪ブレーキともよくきくか。

④ 前照灯
電球が切れていないか。明るいか。

⑤ タイヤ
適度に空気が入っているか。すり減っていないか。

⑥ サドル
適切な高さにしっかりと固定されているか。

⑦ チェーン
ゆるみ過ぎていないか。

⑧ ペダル
曲がっていないか。滑りやすくなっていないか。

⑨ 反射器材
付いているか。後方や側方からよく見えるか。

⑩ 全体
車体の破損や変形がないか。

愛媛県・協力/愛媛県警察本部

大阪府自転車条例

大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例を制定しました。

（平成28年4月1日施行）

条例の4本柱

自転車保険の加入義務化

7月1日施行

もずやん
大阪府広報担当副知事

交通安全教育の充実

自転車の安全利用

○高齢者のヘルメット着用
○自転車の点検及び整備
○反射器材の装着

交通ルール・マナーの向上

自転車利用者の役割

くわしくは、大阪府ホームページをご覧ください。 大阪府自転車条例 検索

大阪府

条例の主な取組内容

交通ルール・マナーの向上

自転車は車両です。
ルール・マナーを守って自転車を安全・適正に利用しましょう。

- 自転車は車道の左側を走りましょう

- 歩道は歩行者優先

- 交差点での一時停止と安全確認

- 信号を守る

- 夜間はライトを点灯

自転車保険の加入義務化

自転車利用者が損害賠償責任を負った場合の経済的負担の軽減と、被害者の保護を図るため、自転車損害賠償保険の加入が義務化されました。

～保険に加入しましょう～

<高額賠償事例>

賠償額 9,521万円

男子小学生（11歳）が夜間、自転車で帰宅途中に、歩行中の女性（62歳）と正面衝突。
女性は頭蓋骨骨折等で意識が戻らず、監督責任を問われた母親に賠償命令。

高齢者ヘルメット着用

65歳以上の高齢者が自転車に乗車するときは、ヘルメットを着用し、自分の身を守りましょう。
ヘルメットは自転車で転倒したときに頭を守ってくれます。

※13歳未満の児童、幼児が自転車に乗車するときは、道路交通法により保護者がヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。

交通安全教育の充実（学校・家庭・職場）

児童・生徒に対する交通安全教育の指導強化や家庭、職場における交通安全教育の実施に努めましょう。

自転車の点検及び整備

反射器材の装着、タイヤの空気圧やブレーキの効き等の自己点検のほか、異常を感じた際には、販売業者の点検整備を受けましょう。

これらのながら運転は禁止行為です。

（条例に関するお問い合わせ） 大阪府自転車条例総合窓口 電話番号06(6944)6736

このパンフレットは250,000部作成し、1部あたりの単価は2円です。

１．１．１　モビリティ・マネジメントとは？

モビリティ・マネジメント（MM）とは、当該の地域や都市を、「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしこく）利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組みを意味するものです。こうした施策目標は、TDM（交通需要マネジメント）と同様なのですが、

「環境や健康などに配慮した交通行動を、
大規模、かつ、個別的に呼びかけていくコミュニケーション施策」

を中心として、ひとり一人の住民や、一つ一つの職場組織等に働きかけ、自発的な行動の転換を促していく点が、その大きな特徴です。そして、こうしたコミュニケーション施策を中心として、

・交通システム運用改善等の TDM 施策

・交通システムそのものの改善や新規導入

・そうした諸施策の実施主体の「組織の改変」や「新たな組織の構築」等

の、これまでも行われてきた各種施策を実施していきます。そして、こうした取り組みを通じて、最終的に、当該の地域や都市において「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしこく）利用する状態」を目指していきます。これが、モビリティ・マネジメント（MM）と呼ばれる取り組みです。

モビリティ・マネジメント（国土交通省）平成 19 年 3 月　より抜粋

ひらかた交通まちづくりワークショップ参加者名簿

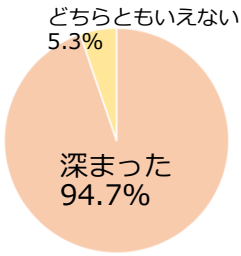
	氏　　名	参 加 区 分
1	立浪　友康	校区コミュニティ連絡協議会
2	末岡　妙子	校区コミュニティ連絡協議会
3	浜田　坦	校区コミュニティ連絡協議会
4	児玉　荘一	校区コミュニティ連絡協議会
5	森田　吉彦	校区コミュニティ連絡協議会
6	堀之内　洸樹	学生（大阪工業大学）
7	紫村　勇綺	学生（大阪工業大学）
8	朝倉　千鶴	学生（関西外国語大学）
9	伊東　承実	学生（関西外国語大学）
10	岡本 俊哉	市民団体
11	鎌田　徹	市民団体
12	川口　文人	市民団体
13	丸山　憲一	市民団体
14	原田　博美	市民団体
15	村山　育代	市民団体
16	野口　幸男	市民団体
17	岸上　隆昭	市民団体
18	宮下　丈	公募市民
19	大津　雅美	公募市民
20	柘植　博司	公募市民
21	藤原　泉	公募市民
22	山下　雅啓	公募市民
23	山口　圭一	公募市民
24	彼谷　憲美	公募市民
25	土井　圭子	公募市民
26	木村　陽亮	市職員
27	湊　結麻	市職員
28	小田　輝	市職員
29	江守　良介	市職員
30	杉本　直人	市職員

◆ワークショップに参加した参加者の意見

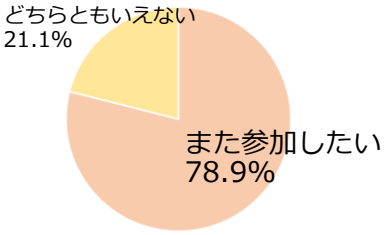
ワークショップ参加者に行ったアンケート結果は、下記の通り。

①全般的に参加して良かったとの意見が多く、枚方市の交通に対する理解が深まった(95%)、また参加したい（79%）となっている。
②また、公共交通を今後なるべく利用したい(58%)となっており、公共交通への理解がこれまでより深まった人が半数以上占めている。
③参加者の自由意見では、今後もこのようなワークショップをほかの施策でも実施してほしいなどの意見もあった。

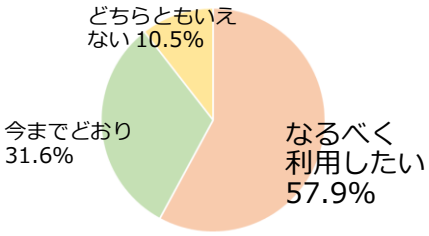
A.今回のワークショップに参加して、
枚方市の交通についての理解



B.またこのようなワークショップが
開催されたらどうしますか



C.今後の公共交通の利用について



ひらかた

交通まちづくりワークショップだより１

発行：枚方市土木部土木総務課　　発行日：平成 28 年 5 月 22 日

「交通の良いところ・悪いところ」を議論しました。

枚方市において、市の将来のまちのあり方を考えながら、枚方市の交通全般に関する計画である「枚方市総合交通計画」を策定します。

私たちは電車、バス、タクシー、自家用車、自転車や徒歩など様々な目的をもって様々な交通手段を利用しています。これから先、人口減少と超高齢社会が進展していく中で、安全、快適で利用しやすい交通環境の確保など、今後の都市交通のあり方を検討することが求められています。

枚方市では交通分野でできることを明らかにし、将来の世代に責任の持てる持続可能な交通社会をめざす場として『ひらかた交通まちづくりワークショップ』を開催します。ワークショップは 4 回に渡り、第一回・第二回目は、市内交通の現状と課題を把握します。また現地調査で実際に市内交通を体験します。第三回・第四回目は、市内交通の課題解決の方針や改善案を考えていきます。毎回、どんな意見が出るか楽しみです。

①第一回ワークショップ

第一回目は、「現状と課題の見える化①」というテーマで、4 月 23 日(土)に開催され、27 名のみなさんにご参加いただきました。

当日は、参加者相互に、市内の交通に関して日頃感じている印象や良いところ悪いところ、便利なところ不便なところなど率直な意見を出し合いながら、市内交通への理解を深める場となりました。

日時：平成 28 年 4 月 23 日(土) 10:00～12:00
場所：市役所別館 4 階会議室
参加人数：27 名

②第一回ワークショッププログラム

1）開会のあいさつ

2）ワークショップの進め方

3）『みんなで考えささえる公共交通』大阪大学コミュニケーションデザインセンター特任教授 土井勉氏より、交通について分かりやすく説明頂きました。

写真：土井 勉氏より交通に関する説明

4）『枚方市を取り巻く現状と課題の把握』枚方市より、枚方市の交通に関する現状と課題について説明を行いました。

写真：枚方市より交通の現状と課題の説明

5）『ワークショップ参加の視点』について、ワークショップ参加者へお聞きました。ワークショップでは、歩行者・子育て・高齢者・障害者・子どもなどの利用者の立場を「大切にしたい」。また、「参加者みんなの意見を聞きたい」と多くの回答がありました。

「グループワーク」で市内交通に関する意見交換を行いました。

6）『グループワーク』では、A～E 班の５グループに分かれて、『日ごろ感じている市内の交通に関しての良いところ、悪いところなど意見交換』を行いました。

写真：グループワークの様子

7）『グループワーク結果発表』では、各グループワークで出てきた意見をそれぞれ、一枚の模造紙にまとめ、グループの代表者より発表していただきました。

写真：各グループからの発表の様子

各グループの結果

A 班：自転車走行など交通ルールを理解していない。歩道が狭いため歩きにくい。バス・鉄道は駅前も広くアクセスも良い。

B 班：市内公共交通の便利が良い。南北に走る２本の鉄道沿線の便利は良いが東西方向の交通ラインは道路が狭いなどの課題がある。

C 班：歩道が狭く、自転車走行が危険。地域によって交通機関の便利さに違いがある。東西方向をつなぐ交通軸が足りない。

D 班：鉄道は便利。道が狭く、歩きにくい。買物は便利である。国道１号はごみが多く落ちている。

E 班：自転車、自動車のための道路スペースが狭い。道路での歩行者、自転車のマナーが悪い。鉄道については便利である。

第一回交通まちづくりワークショップは活気ある有意義な意見交換の場となりました。〈市担当より〉

第二回ワークショップについて

日時：平成 28 年 5 月 22 日(日)
テーマ：公共交通体験　現状と課題のみえる化②／バスと電車を体験、前回意見の振返りと課題解決に向けた検討

【ワークショップ問い合わせ先】

担当：枚方市 土木部 土木総務課
〒573-8666 枚方市大垣内町 2 丁目 1-20
TEL：050-7102－6505（直通）
FAX：072－841－4605
E-mail：dsoumu@city.hirakata.osaka.jp

ひらかた
交通まちづくりワークショップだより2

発行：枚方市土木部土木総務課　　発行日：平成 28 年 6 月 29 日

「枚方市の公共交通を体験しました！」

枚方市では交通分野でできることを明らかにし、将来の世代に責任の持てる持続可能な交通社会をめざす場として『ひらかた交通まちづくりワークショップ』を開催します。ワークショップは 4 回に渡り、第一回・第二回目は、市内交通の現状と課題を把握します。また現地調査で実際に市内交通を体験します。第三回・第四回目は、市内交通の課題解決の方針や改善案を考えていきます。毎回、どんな意見が出るか楽しみです。

①第二回ワークショップ

第二回目ワークショップは、「公共交通体験　現状と課題の見える化②」というテーマで、実際にバスに乗りながら、第一回目に出てきた「交通の良いところ・悪いところ」を体験しました。5 月 22 日(日)に開催し、25 名のみなさんにご参加いただきました。

当日は、実際に見て気が付いたことを率直に出し合い、更なる市内交通への理解を深める場となりました。

日時：平成 28 年 5 月 22 日(日) 9:30～12:00
場所：現地調査　及び 市役所別館 4 階会議室
参加人数：25 名

②第二回ワークショッププログラム

1）枚方市駅に現地集合

2）現地調査（公共交通体験）／2 つのグループに分かれて、バスに乗り、1 時間ほど市内の公共交通を体験しました。

3）枚方市駅バスロータリーに到着後、駅構内を視察し、市役所にてグループワークを行いました。グループワークでは、第一回目の意見交換を振返り、また現地調査を踏まえて、課題解決に向けた検討をしました。

③公共交通体験（現地調査）

写真：公共交通体験を開始！

写真：車いすなどによりバリアを検証

写真：歩道、自転車道、車道が明確

地図：現地調査の移動ルート

「公共交通体験」で見えてきた現状と課題について議論しました。

④グループワークで見える化

枚方市の公共交通を実際に体験した後、５つのグループに分かれて、『公共交通の新たな問題点など』を見つけ意見交換を行いました。

写真：グループワークの様子

写真：各グループからの発表の様子

各グループの結果

A 班：枚方市駅も長尾駅も使いやすいが、駅の周辺は歩道がなかったり狭かったりと危険。自転車が歩道を走ったり車道を走ったりしている。歩道や自転車レーンの整備がまだまだである。

B 班：枚方市駅周辺はバスが多く車が混み合っている。バス停についてはベンチや屋根のないバス停がある。バス車内のアナウンスは親切である。駅では下りのエスカレーターがないことが気になった。

C 班：バス車両も運転手も車いすに対応できていた。車いす使用者乗降中はバス後部に車いす表示が出る。バス停にベンチがないので、危険なところに座って待っている。

D 班： 枚方市駅のＥＶやエスカレーターが見つけにくい。歩道が狭い道があり宣伝用の旗がはためいていた。並木も綺麗だが見通しを悪くしているところもあった。自転車道があると、人、自転車、車両が分かれていてすっきりしている。

E 班：歩行者、自転車道が整備されていてよかった。いくつかのバス停周辺で歩道が整備されていなかった。駅ではＥＶやエスカレーターの場所が分かりづらかった。

今回のワークショップでは公共交通の体験に加え、参加者に高齢者、障害者の体験をしていただきました。高齢者体験をした参加者からは「膝が曲がりにくく、座席に座れなかったので、バスの中に寄りかかる場所があればよかった。」という意見がありました。

第三回ワークショップについて

日時：平成 28 年 7 月 30 日(土)
テーマ：市内交通の課題の解決方針と改善案を考える①／第一回・第二回で出た問題点等の整理

【ワークショップ問い合わせ先】

担当：枚方市 土木部 土木総務課
〒573-8666 枚方市大垣内町 2 丁目 1-20
TEL：050-7102－6505（直通）
FAX：072－841－4605
E-mail：dsoumu@city.hirakata.osaka.jp

ひらかた
交通まちづくりワークショップだより３

発行：枚方市土木部土木総務課　　発行日：平成 28 年８月９日

「交通の問題点と改善策」が明確になってきました。

枚方市では、将来の世代に責任の持てる持続可能な交通社会をめざすため、「枚方市総合交通計画」を策定します。その中で、枚方市の交通環境にどのような課題があるのかを発見し、その解決方針を検討する場として『ひらかた交通まちづくりワークショップ』を開催します。ワークショップは全部で 4 回を予定。第二回目では、実際に公共交通を体験するなどをして、市内交通の現状と課題の把握を行いました。第三回・第四回目は、市内交通の課題解決の方針や改善案を考えていきます。

①第三回ワークショップ

第三回ワークショップは、「市内交通の課題の解決方針と改善案を考える①」というテーマで、7月 30 日（土）に開催し、22 名が参加しました。当日は、第一回・第二回で出てきた交通に関する問題点等を振り返り、それらの解決にむけて何ができるかをテーマ別に話し合いました。

日時：平成 28 年 7 月 30 日(土) 10:00～12:00
場所：市役所別館 4 階会議室
参加人数：22 名

②第三回ワークショッププログラム

1）本日のワークショップの進め方

2）第一回・第二回ワークショップで出た市内交通についての意見の振り返りをし、意見がテーマ別に整理できることが分かりました。

図：第一回・第二回で出た参加者の意見

3）第一回・第二回ワークショップの意見をまとめた 6 つのテーマの中から参加者各自が議論したいものを選び、グループ分けを行いました。

写真：グループ分けの様子

4）グループワークでは、第一回・第二回で出てきた「良いところ・問題点」を振り返った後、テーマごとに課題に対する改善案について議論しました。

5）各グループからの発表の後、全体のまとめを行いました。

「みちづくりはまちづくり」である。

③テーマごとのグループワーク

下記の 6 つのテーマについて、それぞれの課題に対する改善策や、それらに取り組む主体、また優先度などについて議論を深めました。その後、グループワークで出た改善案や意見を、それぞれ一枚の模造紙にまとめ、発表を行いました。

1. 駅および駅の空間
2. バス路線の再編・改善
3. バスサービスの改善
4. 道路空間の整備や使い方
5. 交通安全対策、マナー・ルール
6. 自動車交通の円滑化

↑参加者の意見から抽出した 6 つのテーマ

各グループの発表内容

テーマ 1 駅および駅の空間

枚方市駅のエレベーターを分かりやすい場所に設置(バリアフリー改善)。情報案内の明確化。⇒環境整備により駅前の賑わいを創出。

テーマ 2 バス路線の再編・改善

バス基本路線網の設定。バス本数は充実しているが交通不便地域もあるため乗り換えスポット等を設置してコミュニティバスを導入。

テーマ 3 バスサービスの改善

枚方市駅バス乗降場を方向別に集中。道路上の公共交通を優先。雨天時等にバス本数を柔軟に増数。IC カードチャージ機器を学校や市役所へ設置。

テーマ 4 道路空間の整備や使い方

「みちづくりはまちづくり」という観点から改善案を検討。通勤時間帯の一般車両規制エリアを設置。一方通行や減速帯の導入。先進交通モデル地区設置を提案。

テーマ 5 交通安全対策、マナー・ルール

自転車免許制度や条例の制定。自転車マナー啓発活動としてマナーブックの作成や監視カメラを設置。

テーマ 6 自動車交通の円滑化

駅周辺の渋滞解消のため、駅前へ移動する際は公共交通を利用するという教育を実施。安全安心な道路づくりのため、市民と協働で考えていく。迅速な道路管理・整備。

写真：発表の様子

枚方市総合交通計画協議会 会長の大阪大学 土井 勉氏よりひとこと

本日の発表のなかで、「みちづくりはまちづくり」という話がありました。道をつくるところから使うところまでの一貫した話しができて良かったと思います。また、グループワークのなかで、昔に比べて渋滞が減っているという意見がありました。それを活かして新たな取り組みができたら良いですね。

第四回ワークショップについて

日時：平成 28 年 8 月 28 日(日)
テーマ：市内交通の課題の解決方針と改善案を考える②／全体総括。改善案など、枚方市総合交通計画協議会への報告内容をまとめる。

【ワークショップ問い合わせ先】

担当：枚方市 土木部 土木総務課
〒573-8666 枚方市大垣内町 2 丁目 1-20
TEL：050-7102－6505（直通）
FAX：072－841－4605
E-mail：dsoumu@city.hirakata.osaka.jp

ひらかた
交通まちづくりワークショップだより４

発行：枚方市土木部土木総務課　　発行日：平成 28 年 9 月 21 日

市内交通の課題解決方針と改善案をまとめました！

枚方市では、将来の世代に責任の持てる持続可能な交通社会をめざすため、「枚方市総合交通計画」を策定します。その中で、枚方市の交通環境にどのような課題があるのかを発見し、その解決方針を検討する場として『ひらかた交通まちづくりワークショップ』を 4 回に渡り開催しました。第一回・第二回目では、市内交通の現状と課題の把握を行い、第三回・第四回目では、市内交通の課題解決の方針や改善案を話し合いました。

第四回ワークショップ

最終回となる第四回ワークショップは、「市内交通の課題の解決方針と改善案を考える②」というテーマで、8 月 28 日(日)に開催し、20 名が参加しました。当日は、第三回目のワークショップで話し合った市内交通の課題解決の方針や改善案を振り返り、取りまとめに向けた改善案の整理や、議論に挙がっていない課題とその改善案についても話し合いました。

日時：平成 28 年 8 月 28 日(日) 10:00～12:00
場所：市役所別館 4 階会議室
参加人数：20 名

①ワークショッププログラム

1）開　会
2）枚方市長のあいさつ
3）参加者全員で記念写真撮影
4）第三回目で話し合った解決方針や改善案の振り返り
5）グループワーク
：解決方針と改善策について再度話し合い、各グループ毎に提案の取りまとめ
6）全体発表
：各グループからの提案を共有
7）ワークショップ取りまとめの方針の確認と枚方市総合交通計画協議会への報告について説明
8）閉　会

写真：伏見市長のあいさつ

写真：参加者と記念写真撮影

市民・交通事業者・行政が良いパートナーシップを

②課題解決方針と改善案のまとめ

第三回に続き、6 つの交通テーマの課題に対する改善策や、取り組み主体、優先度の議論を各グループで深めました。その後、追加の改善案をそれぞれ発表しました。

写真：グループワーク・発表の様子

1班：自家用車中心の道路ではなく、公共交通を中心に考えた道路整備が必要。駅前広場の案内が分かりにくい。将来的に駅前広場を大改造。シェアサイクルなどの自転車施策も必要。

2班：パークアンドライドなど複合的な組み合わせや公共交通の乗り換え割引などを検討。

3班：バスサービスの改善として、短距離料金の改定でバス利用者が増えるのではないか。バス停の利用環境を良くする「RAKUKATA バス停プロジェクト」の推進。

4班：電線地下化。高齢化社会に対応して、乗り降り自由な高齢者が利用しやすいバスの導入。

5班：自転車利用者がルールを守れないのには何か理由があるはず。交通ルールやマナーを守ってもらうためには工夫が必要。

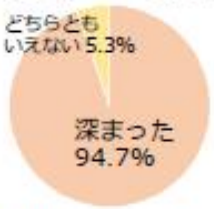
6班：短期で解決できること、中長期で解決することを分ける。駅周辺道路の混雑は送迎の車やタクシーが多いことも関係している。公共交通を利用する方針をつくること、パークアンドランドのような大胆な考えをもつことも重要。

③枚方市総合交通計画協議会 会長の大阪大学 土井 勉氏より総評

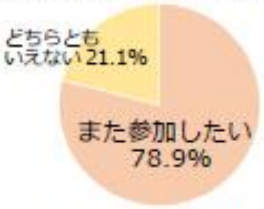
今回のワークショップのなかで、「車社会」から「公共交通中心のまちづくり」にしていく提案や、「高齢化社会」に対応するため高齢者用バスを導入する提案などがありました。また、自転車のマナーやルールが守られないのは何か理由があるはずなどの意見がありました。「守ってもらうために何をすべきか」が抜けていれば守られない。行政、交通事業者、市民が良いパートナーシップを形成してまちづくりの取り組みができたら良いですね。

参加者へのアンケート

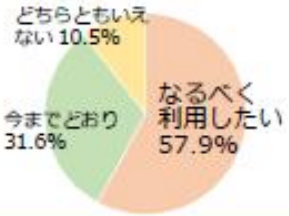
A.今回のワークショップに参加して枚方市の交通についての理解



B.またこのようなワークショップが開催されたらどうしますか



C.今後の公共交通の利用について



「ひらかた交通まちづくりワークショップ」で議論した提案内容について

4 回にわたり開催した「ひらかた交通まちづくりワークショップ」で、参加者の皆様に議論していただいた交通課題、課題解決の方針・改善案等につきましては、成果として取りまとめ、「枚方市総合交通計画協議会」に報告します。

【ワークショップ問い合わせ先】

担当：枚方市 土木部 土木総務課
〒573-8666 枚方市大垣内町 2 丁目 1-20
TEL：050-7102－6505（直通）
FAX：072－841－4605
E-mail：dsoumu@city.hirakata.osaka.jp